



私たちは重症心身障害児者のサポート団体です

<http://nakanodream.main.jp/>

〒164-0012 中野区本町 6-36-5-102 TEL03-6454-1230



**本年もよろしく
お願いします！**

今年3月で設立7年にになります

年頭にあたり

新年明けましておめでとうございます。旧年中は「なかのドリーム」にご理解ご支援をいただき、改めて心より御礼申し上げます。当法人もパンデミック下において、職員のがんばりにより無事に新年を迎えることができました。

症状が出る数日前からウイルス排出が認められる新型コロナ感染症においては、訪問介護で複数のご家庭を訪問したり、障がい児通所施設内で複数の利用者とかかわる介護・福祉従事者は、自らが感染源となる危険性と隣り合わせです。

第4波が到来した昨年4月、当法人の利用者とその家族がコロナ陽性となる事例が発生しました。受け入れ先の病院が見つかるまで、日々緊張した状況下で対処せざるをえません。幸いにも職員から感染者は出ませんでした。危機感を抱いた当法人はすぐに、介護・福祉従事者へのワクチン接種対象順位の前倒しを中野区に要請しました。やがて各地の介護事業所や通所施設でも職員や利用者の陽性例が報道されはじめ、問題が周知されるようになりました。中野区では開始時期が早まりましたが、わずかに数日のことでした。国の定めたシステムとはいえ、もう少し柔軟な対応ができないものかと、やや釈然としない気持ちが残りました。

私の診療所でも一時期、コロナワクチンの予約電話が鳴りっぱなしで対応に追われました。予約した人数分のワクチンが入手できないことが通達され、お詫びの電話をかけまくる事態も生じました。こうした混乱はデジャブ感があります。2009年の新型インフルエンザウイルスが出現して、ワクチン接種が開始された時とよく似ているように思うのです。今回は新たに開発されたワクチンを多くの人々に短期間で接種する必要があるため、さらに混乱が生じています。

昨年3月、ミラノ・スカラ座のオープニング・ガラコンサートがNHKでテレビ放映されました。コロナ禍で世界中の文化活動が停滞する中、無観客ながら驚くべき水準の演奏会でした。そして演出家による最後の語り胸に迫りました。

第二次世界大戦で荒廃した1946年の同ホールでのイタリア解放記念コンサートと今回の公演をだぶらせながら、「芸術は我々を良い方向へと導くものです。文化から、スカラ座から始めましょう。未曾有のこの痛ましい時期にあって芸術と共にあり、思いをはせましょう。“星々を再び仰ぎ見るために”（ダンテ『神曲 地獄編』末尾の一節)」。昨年は詩人ダンテ没後700周年でしたが、自国の詩人の長大な叙事詩の末尾を引用して、コロナで傷ついた人々への連帯と希望のメッセージを発信しました。

エッセンシャルワーカーも、芸術・娯楽のような「不要不急」の仕事をしている人も、仕事についていない人も、皆がコロナ禍から抜け出て、“星々を再び仰ぎ見る”ことを願うばかりです。どうぞ本年も宜しくお願い致します。

理事長 高田功二

◆「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されました◆

この法律は通称「医療的ケア児支援法」と呼ばれています。2021年6月に成立。同年9月18日から施行となりました。法律ができた経緯は、医療技術の進歩に伴い、医療的ケア児が全国的に増加(2万人以上)し、多様化してきたことです。

目的には、【国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、保育及び教育の拡充に係る施策その他必要な施策並びに医療的ケア児支援センターの指定等について定め、その家族の離職の防止に資し、もって安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与すること】とあります。

対象は「医療的ケア児」とありますが、18歳以上も途切れることなく支援されるよう明記されています。法の目的にもあるように、国や地方公共団体等に対し、支援が「努力義務」ではなく「責務」であることや、家族の支援についても言及されており、画期的な法律です。

今後、地方公共団体に支援センターが指定され、支援の拡充が期待される中、当法人もこの法律にもとづいて適切かつ真に必要なご支援ができるように努めてまいりたいと思います。

〈BCP事業継続計画策定〉

BCP計画の策定、見直しをいたしました。BCPとは、災害時に事業を維持、継続するための計画マニュアルです。

地震・水害・新型コロナウイルス発生時、事業を続けていくためにどのような対策をとっていくのかを示してあります。詳しくはホームページでも公開しておりますのでご覧ください。

なかのドリームでは発電機を2台、中野区の助成で備えております。非常時、お困りのことがあればご相談ください。

◆おでんくらぶ事業報告



*登録者数:29名(児童発達支援7名・放課後デイサービス22名)

12月現在【中野区19名 杉並区8名 渋谷区2名】

*月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

7月	8月	9月	10月	11月
85人	84人	84人	90人	90人
4.25人	4.0人	4.2人	4.5人	4.5人
85%	80%	84%	90%	90%

おでんくらぶでは「Instagram」SNSを始めました。活動内容や職員の取り組みをご紹介します。

(管理者:福満美穂子)



◆訪問介護なべ事業報告

*利用者数:24名(12月現在)

*職員数:サービス提供責任者1名・ヘルパー18名

利用者24名中22名の方が、居宅介護、重度訪問介護、移動支援の障害サービスを利用されています。また、たんの吸引や胃ろうなどの医療的ケアが必要な方は11名です。感染症予防にも細心の注意を払い、安全・安心なケアをモットーに、職員一同がんばっております。ただ、人材不足で利用者様のニーズに充分答えられないのが悩みです。介護職員を募集しております!ご紹介いただければありがたいです。

(管理者:松田弥生)

■おでんくらぶ・訪問介護なべの職員 大募集!■

詳しくはお問い合わせください。03-6304-8651

メール info@nakanodream.main.jp (担当:事務局 佐藤)

研修等:

- ・5/26 おでんくらぶ「感染対策研修」
- ・6月 訪問介護なべ「たん吸引等実地研修」
- ・9/6・15 「ハラスメント防止研修」
- ・10/27・29 おでんくらぶ避難訓練
- ・11/14「認知症介護基礎研修」
- ・11月 訪問介護なべ「たん吸引等実地研修」
- ・12/20「BCPの策定について」セミナー
- ・12/22 責任者研修「リーダーの心得」
- ・12/22「てんかん」研修

◆ご寄付を活用しています◆

昨年度はコロナ禍対応で衛生物品などの助成金が自治体からありましたが、今年度は持ち出しがほとんどとなっております。

皆様から頂きました賛助会費、寄付金は、毎日の業務で使用する「サージカルマスク」「使い捨て手袋」「使い捨てエプロン」「除菌剤」などの消耗品のほか、7年目を迎え買い替えが必要になった電化製品などに使用させていただいております。



賛助会費・寄付のお願い

賛助会費 1口 3,000円

寄付金 1,000円~

●賛助会費か寄付金かを明記下さい

①【ゆうちょ銀行から振込】

[口座記号・番号]

00190-3-420254

同封のお振込用紙をご利用下さい

②【他金融機関から振込】

ゆうちょ銀行

[店名・店番] 019(ゼロイチキュウ)

[種 目] 当座

[口座番号] 0420254

[口座名] 特定非営利活動法人

なかのドリーム

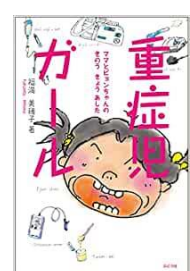
◆書籍のご案内◆ なかのドリーム理事の著作、及び事業紹介の本です。



「不安ウーマン」ぶどう社 著者:福満美穂子



「なげれば創ればいい!」クリエイツかもがわ 著者:鈴木由夫



「重症児ガール」ぶどう社 著者:福満美穂子